

令和 2 年度  
学校自己評価報告書

令和 3 年 4 月  
東京歯科衛生専門学校

## I 教育目標および教育方針

### 【教育目標】

確かな専門能力をもつ歯科衛生士  
人々に信頼され、心を癒せる健康支援者  
判断力、創造力、行動力をもつ歯科衛生士

上記の目標を目指し次の事柄を修得させることを本校の教育方針とする。

### 【教育方針】

- ① 医療倫理に基づいた寛容な人間観
- ② ライフステージに合わせた健康管理および地域歯科保健活動能力
- ③ 正確で安全な歯科医療を提供するために必要な知識と技術
- ④ 相手の立場にたったコミュニケーション能力
- ⑤ 生涯学習の必要性の理解

## II 平成30年度 学校自己評価について

### 1、基本的な考え方

本校では、30年度より学校評価事業を開始いたしました。初年度ということもあり、文部科学省の「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づいた評価項目について実施しました。また、学生アンケート集計結果も活用し、総合的に分析、評価しました。

自己評価を行うことにより、教職員全員の意識の向上はもとより、自己評価結果を基礎におき、更なる教育の資質向上に努めていきたいと考えます。

### 2、実施方法

- ① 「専修学校における学校評価ガイドライン」の評価項目を参考に、全教職員にアンケートを実施する。
- ② 3年生対象のアンケート（3年間の学校生活を振り返って）を実施する。
- ③ 教職員アンケートの集計結果及び学生アンケート結果を踏まえ、校内評価委員会を開催する。委員会構成は以下の通りです。  
委員長 校長  
委員 事務長、教務主任、広報部長、事務及び教務から各1名選出。
- ④ 学校関係者委員会の開催。
- ⑤ 評価結果の公開は、学校関係者委員会の報告書、必要に応じて諸資料を学校HPに掲載することにより行う。

### 3、自己評価の項目

以下の10項目について実施します。

- 1) 教育理念・目標
- 2) 学校運営
- 3) 教育活動
- 4) 学修成果
- 5) 学生支援
- 6) 教育環境
- 7) 学生の受け入れ募集
- 8) 財務
- 9) 法令等の遵守
- 10) 社会貢献・地域貢献

#### 4、評価項目に対する評価

以下の基準で点数での評価を行う。

- |            |           |
|------------|-----------|
| 適切・・・4点    | ほぼ適切・・・3点 |
| やや不適切・・・2点 | 不適切・・・1点  |

## 2020年度 評価項目の達成及び取り組み状況

### 1)教育理念・目標

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	④	3	2
・学校の理念・目的・育成人材像をもとに特色ある職業教育が行われているか	④	3	2	1
・社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・将来構想などが学生に周知されているか	4	③	2	1

#### ①成果

- ・学校の理念・目的・育成人材像については、各学年の教授要項の1ページに掲載し、常に目の触れるところにと意識して実施している。
- ・今年はコロナの影響にて、入学時・進級時のオリエンテーションが縮小され教育理念について十分に周知できなかったが、歯科衛生士概論の授業の中で折に触れ伝えるように務めた。
- ・1、3学年の歯科衛生士概論の授業の中で、育成人材像、将来像をイメージできるように現場で活躍する卒業生の歯科衛生士による講話を設定し、将来像を高めるための取り組みを前年同様取り組んだ。卒業生の生の声、アドバイスは学生に好評であった。
- ・コロナ禍の中で実施できなかった1年次の臨床実習見学の代替えとして、逆に現場の歯科衛生士、歯科医師の先生方から講話をもらう機会を設定した。これは具体的な将来像をイメージする良い機会になったと考える。学生からのまとめの意見も好評であった。

#### ②課題

- ・KDUの未来化構想における本校の存在意義がより明確化され周知されること。

#### ③今後の改善方策

- ・KDUが東京サテライトクリニックを創立し、そこをTDHの学生の実習場所として専門性の高い先端技術を学ぶ環境をつくる。これは学生のためになり、学校にとっても他校との差別化をアピールできる。
- ・教育理念・目標は学校の基盤となるので、専任教員の科目にて折に触れ何度も繰り返し伝える努力をする。
- ・学生の周知度確認のためのアンケートの実施。

### 2)学校運営

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・人事・給与に関する規定等は設備されているか	4	③	2	1
・運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、又、有効に機能しているか	4	③	2	1
・組織の構成員それぞれの職務分掌と責任が明確になっているか	④	3	2	1
・教務・事務等の組織整備など意思決定システム(会議等)が制度化されているか	4	③	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切にされているか	4	③	2	1
・業務効率化を図るシステム化がなされているか	4	③	2	1

#### ①成果

- ・懸案であった人事、給与に関する規定類の設定された。
- ・各種書類において可能である個所の捺印を廃止した。職員、学生ともに負担軽減に繋がった。

#### ②課題

- ・業務量が多く、残業が減らないこと。

#### ③今後の改善方策

- ・2021年度業務改革プロジェクトが立ち上げられたので、今後の業務効率化が期待できる。
- ・アナログ部分の改善・紙の消費量を減らす電子化にどう取り組めるかの検討。
- ・学生掲示板の電子化等合理的でわかりやすい情報伝達と運営の検討。
- ・業務効率化を図るために、国家試験問題を手入力ではなくVSCソフト利用等の検討。

### 3)教育活動

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	3	2
・教育理念を踏まえた教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・カリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等の連携において優れた教員を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における最先端知識・技術等を習得するための研修や教員の資質向上のための取り組みが行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

#### ①成果

- ・突然のコロナ禍で急遽オンライン授業の導入を余儀なくされたが、早期にLMSを立ち上げ、各教室からの配信設備の工事、資料作成と送付、実習科目の配信等、様々な課題を克服して何とか年間のカリキュラムをこなすことができた。
- ・KDUの連携により、専門の講師陣による講義・実習を取り入れることができた。(歯内療法の実習、インプラント、矯正等の実践的な授業、専門的口腔ケア実習等)これは、本校教員への資質向上にも繋がることと考える。

#### ②課題

- ・審美歯科、訪問歯科、インプラント治療等、ニーズの高まりにも対応できるよう新しい分野の知識・経験値の高い人材の採用、実習先の確保。
- ・進級や卒業判定の基準はある程度明確になっているが、判定基準の更なる見直しが求められる。

#### ③今後の改善方策

- ・2021年度カリキュラム・教育手法改善プロジェクトのたちあげによる改革。
- ・実力試験のあり方、方法、時期等を検討し学生の意識を高める指導の必要性を考える。また、卒業試験の導入の検討。
- ・教職員自身の資質向上の為のFD、教育理念の更なる共有が必要。

### 4)学修成果

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・就職率の向上が図られているか	4	3	2
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用しているか	4	3	2	1

#### ①成果

- ・KDU講師陣による寺子屋での国試対策、特別授業が実施され国試合格に貢献した。
- ・3年次の歯科衛生士概論の中で、「卒後のキャリアアップ」として3名の卒業生に講話をしてもらっている。他、コロナ禍の影響もあつたが、昨年より多くの卒業生(各分野で活動している)に講話を依頼し活用できた。

#### ②課題

- ・資格取得率の向上
- ・卒業後の動向は一部の人に偏っている傾向があり、同窓会との連携が必要である。今年はコロナ禍の中で連携が稀薄になってしまった。連携について模索が必要である。
- ・就職先を含め、卒業生の動向がわかりづらい。

#### ③今後の改善方策

- ・カリキュラムを改編し進級率を上げ、3年生が早期から国試対策に取り組めるようにし、退学率を軽減し入学者の資格取得率を上げる。
- ・国試の難易度が上がっている中、傾向と対策を強化し1年次からの対策を強める。
- ・同窓会との連携を何ができるか(必要か)を分掌担当者と管理職で審議していく。

## 5) 学生支援

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、不適切・・・1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生への生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・高校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	4	3	2	1

### ①成果

- ・法人による就職ガイダンスを取り入れることができた。マッチングの場として今後期待したい。また、大型の就職ポスターの掲示を行い、学生に周知しやすくなった。
- ・修学支援制度の対象校となって初年度、全学年で21名の学生が給付を受けることができ経済的な支援体制が整っている。
- ・全学年で22名の学生がハローワークの教育訓練給付金を利用して学んでいる。
- ・法人の健康管理室との連携により、コロナ感染予防対策を強化し、アドバイスを取り入れることができた。
- ・コロナの感染予防対策を徹底し学生の安全を図りながら授業を実施し続けることができた。
- ・保護者への各学期ごとの成績表の送付、必要に応じての電話連絡等担任との連携を取れるようにしている。また3年生の保護者には、国試の取り組みに必要な情報を提供しサポートのお願いをした。
- ・卒業生には、再就職支援、図書の貸し出し等の支援を実施している。
- ・既卒生の国試合格に向け、寺子屋を利用し全力でサポートでき結果に結びついた。

### ②課題

- ・オンライン授業が多く対面で学生の話聞く時間をつくる機会が少なかった。
- ・引き続き講義科目はオンライン授業になることが予想されるため、特に新生はクラスメイトと接する機会が少ないことで孤独にならない様に精神的なケアが必要である。

### ③今後の改善方策

- ・専門のキャリアカウンセラーの配置(昨年に引き続き)の検討。
- ・スクールカウンセラーとの相談を必要に応じ実施していく。教員の支援方法のアドバイスも含む。
- ・学生部の導入。
- ・課外活動に関する中長期的な模索をしていくことも必要である。

## 6)教育環境

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2
・学内外での実習施設、インターンシップ、海外研修等についての教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1

### ①成果

- ・コロナ対策の設備、備品等予算外であったが、整備することができた。また、オンライン授業の対策としてカメラを導入し対面と同等となるような教育環境を整えることができた。
- ・学生からの要望の強かったwi-fiルーターをカフェ棟に設置し要望に答えることができた。

### ②課題

- ・都内で学生が通える場所に法人が実習施設としてのクリニックを開設することが望まれる。
- ・実習室のユニットが故障しやすい。
- ・今年度は、コロナ禍の中でカフェの昼食提供はできなかったが、今後学生が利用しやすい昼食の利用方法を模索する必要がある。

### ③今後の改善方策

- ・ユニットの交換、3階学生トイレの改修工事。
- ・引き続き新しい機器の導入をし、学生が現場に出たときに抵抗なく扱えるようにする。
- ・海外研修については、法人の短大で実施しているので、感染症の収束後、本学生にも同体制がとれるか検討が望まれる。

## 7)学生の受入れ募集

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	・学生募集活動は、適切に行われているか	④	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

### ①成果

- ・3年連続での定員充足ができています。
- ・コロナ禍においてオンラインでの募集活動も広め効果を得た。
- ・若者(高校生)をターゲットとしたSMS戦略を取り入れ、好評を得ている。
- ・本校の教育方針を伝えるガイダンスにできるだけ多く参加できた。コロナ禍の中であったが、高校との接触を強化できた。

### ②課題

- ・適切な入試による定員充足。
- ・更に歯科衛生士の良さを伝え、意欲のある学生の入学に繋げる。

### ③今後の改善方策

- ・2022年度入試で、AOエントリーを6月より開始する。
- ・AO入試で適性検査を実施し、適性をみて入学させる。
- ・指定校推薦での入学者を増やすため、高校への広報活動をより活発にしパイプを強化する。
- ・HPの改修を来年度実施予定であり、スマートフォンでも見やすくし、認知度を高める。
- ・SNSを駆使した戦略を強化していく。



## 8) 財務

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	4	3	2	1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正におこなわれているか	4	3	2	1

### ①成果

- ・本年度も経常収支は黒字決算の予定。
- ・3年連続しての入学定員充足と退学者防止対策により、2021年度は在籍数230名超えの予定で、経常収支の黒字も更に増額し、ユニット交換の計画に着手できる予定。

### ②課題

### ③今後の改善方策

- ・入学者定員充足を今後も継続し、退学防止に努め230名以上の在籍を保つことができれば財政基盤は更に安定する。

## 9) 法令等の遵守

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	4	3	2	1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

### ①成果

- ・学校自己評価及び学校関係者評価報告書を今年度も継続公開した。
- ・専修学校や養成所ガイドラインを遵守した運営を継続している。

### ②課題

- ・顔写真など個人情報の扱いについて。

### ③今後の改善方策

- ・広報等でSNS上に載せる必要などあるため、入学時に承諾書を交わしておく。
- ・学則や校内ルールが時代の流れやニーズに適合しているかどうかの検証、必要に応じた検討。

## 10) 社会貢献・地域貢献

評価項目の達成及び取り組み状況	適切・・・4、ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2、、不適切・・・1			
	4	3	2	1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座等の受託を積極的に実施しているか	4	3	2	1

### ①成果

- ・コロナ禍で、例年実施していることを行うことができなかった。
- ・今年度予定していた外部の歯科関係者団体への学校施設の貸し出しも実施できなかった。社会貢献にも取り組む予定であったが残念である。

### ②課題

- ・各学会の学生ボランティア活動の周知を拡げる。
- ・外部団体に対する社会貢献の強化。(コロナ収束後)

### ③今後の改善方策

- ・コロナ収束後、もっと地域にアピールするためにキッズイベント、さくら祭りを再開していく。
- ・各学会の学生ボランティア活動の周知をさらに強めていく。